

高校生との川、人、地域づくり。



■帯広農業高校と連携した川づくりの取り組み

現地視察



H25 ●農高「川づくり班」発足

当初は掘削されただけの単調な湿地環境。農業高校では「十勝川中流部川づくり班」を立ち上げモニタリングに参加

ヨシ棹設置



H26 ●水生生物の生息環境づくり

生物の生息エリアと異なる環境づくりを目的に、ヨシ棹設置、玉石・伐採木投入による魚礁づくり。重機による大型魚エリア掘削も

被災状況



H28 ●4連続台風による出水

湿地周辺で1m近い土砂堆積など成果が消失。水域3.1haは1.6haに減少。H29復旧(土砂掘削)が開始され現在の2.0haに回復した

ガマ採取



R02 ●SDGsの取り組み

アイヌ団体と連携してガマ生育面積を拡大。十勝管内のアイヌ団体が伝統儀礼で使用するゴザに〈目標17：パートナーシップで目標を達成しよう〉

生物を写真撮影（定性的調査：トンボ班）



魚類同定計測（定量的調査）



川づくり報告会



H25 ～ ●川づくり報告会 魚類調査を継続

毎年川づくり報告会を開催し成果発表。H26から実施している魚類調査は台風被害があったH28を除いて年2回実施

川にかかわる人づくり

●生徒の進路先の例

公務員（国）	13名	四年制大学	18名
公務員（北海道）	18名	短期大学	1名
公務員（市町村）	29名	専門学校	17名
民間（土木）	16名		
民間（一般）	5名		計 117名

（R3～R5：農業土木工学科 定員40名）
帯広農業高校「農業土木工学科進路データ」より

協働の地域づくり

●卒業生が帯広河川事務所職員として在校生と活動



農業高校での活動説明



在校生と魚類調査



生徒が撮影した生物写真の一部はリーフレット「十勝川相生中島上流湿地の生き物たち」(右:二次元バーコード)に収録



ふりがな 川や水辺の名称	とかちがわ 十勝川（十勝川水系）	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	北海道帯広市	高校生との川、人、地域づくり
応募者名（ふりがな） 所属団体名	黒井孝明（くろいたかあき） 十勝川中流部市民協会議	（記入不要）エントリー No.